

統計学者にして国会議員 柳澤保恵の功績！

奥積 雅彦（総務省統計研究研修所教官）

明治 38 年（1905 年）、「国勢調査ニ関スル法律」が改正され、第 1 回調査の時期は別途、勅令で定めることになり、明治 38 年国勢調査は日露戦争の影響で延期されることになったところ。貴族院の当該法案に係る委員会において、政府側の第 1 回国勢調査の実施年を勅令に委任する法案に対し、柳澤保恵貴族院議員から第 1 回国勢調査は明治 43 年に実施することを明記する修正案が出されたことについては、統計図書館ミニトピックスNo.21¹で紹介したところですが、本稿では、統計家としての柳澤保恵の功績に係るトピックスを紹介します。

やなぎさわ やすとし 柳澤 保恵(1871～1936)² 	明治 3 年（1871 年）旧黒川藩主・柳澤光昭の次男として生まれる。明治 19 年宗家の伯爵・柳澤保申の嗣となり、明治 26 年襲爵。明治 27 年学習院大学科を卒業³し、宮内省留学生としてベルリン大学・ストラスブルグ大学、ウィーン大学などで主に統計学を学ぶ。明治 33 年帰国後、東京専門学校（のちの早稲田大学）で統計学を講義。大正 2 年（1913 年）柳澤統計研究所を創設し総裁となる。明治 37 年（1904 年）貴族院議員。東京市会議長、明治 35 年第一生命保険社長などを務めた。国勢調査準備委員会委員、中央統計委員会委員など政府の統計関係委員を歴任。
---	---

1 国際統計協会と柳澤保恵⁴

国際統計協会⁵（万国統計協会）は、各国の統計専門の実務家と学者で構成され、統計の技術及び学問の進捗を図る団体で、会議は、原則として隔年ごとに開催され、1887 年に第 1 回会議がローマで開催されました。第 5 回は、スイスのベルンで開催され、「各国が 1900 年に人口センサスを行う議決」がなされ、スイス連邦統計局長ギュイヨームから内閣統計課に書簡が届き、1900 年の世界人口センサス（国勢調査）への日本の参加の勧誘があり、我が

¹ 統計図書館ミニトピックスNo.21「国勢調査に係る根拠法の沿革」

² 【参考資料】：20 世紀日本人名事典等

【写真】：第十九回国際統計協会会議記念写真帖（国立国会図書館デジタルコレクション）

³ 学習院では、「日本の統計理論のパイオニア」ともいわれる呉文聰から統計学を受講（呉建「呉文聰」所収の「伯爵柳澤保恵氏談」、「柳沢統計研究所季報」第 40 号（統計選集）に所収の柳澤保恵「恩師文聰呉先生に就て」（タイトルは、「名・姓」の順となっています（筆者の誤入力ではありません）。漢字表記ではめずらしいかもしれません……ナゾです。）

⁴ 【参考資料】：横山雅男「統計学」、藪内武司「日本統計発達史研究」、島村史郎「日本統計史群像」等

⁵ 国際統計協会（万国統計協会）は、1885 年パリ及びロンドン両統計協会の祝賀会后、オーストリアのノイマン・スパルラルト博士の発議により開催されることとなりました。統計に関する国際会議としては、統計の国際比較を重視したアドルフ・ケトレーの提唱により開催された国際統計会議（万国統計公会）（1853 年以降 9 回開催。）以来です。（【参考資料】：横山雅男「統計学」）

国が人口センサスの実現を目指す契機を与えることになりました。ノルウェーのクリスチャニア（オスロの旧称）で開催された 1899 年の第 7 回会議において初めて日本政府代表として柳澤保恵が参列しました。その後、累次にわたり会議に参列した柳澤保恵の努力により、昭和 5 年（1930 年）の第 19 回会議が日本に招致され、東京で開催されることとなりました。昭和 4 年に準備委員会が設けられ、柳澤保恵は同委員会の会長に任命されました。

（付録参照）

2 叙勲関係文書にみる柳澤保恵の功績のポイント

柳澤保恵が昭和 11 年（1936 年）5 月に勲一等に叙せられるに際しての叙勲裁可書における同人の功績のポイントは、次のとおりです。特に国際統計協会会議の日本招致に係る功績が高く評価されていると考えられます。

- ・ 第 7 回国際統計協会会議（於：クリスチャニア（オスロの旧称）、1899 年）に最初の政府代表として参加
- ・ 第 19 回同会議（1930 年）の日本招致に尽力（東洋で初の会議開催）
- ・ 国勢調査準備委員会委員等政府の各種統計関係委員を歴任
- ・ 柳澤統計研究所を設立するなど統計の発展に寄与
…など

3 柳澤保恵の功績を記した叙勲裁可書⁶

柳澤保恵が勲一等に叙せられるに際しての叙勲裁可書は、次のとおりです。そのなかで「本月二十五日死去せる趣に付、此際、特に同日附けを以て勲一等に叙し、瑞宝章を授けられ度^{たく}」とあり、死亡叙勲の手続きがとられたことがわかります（昭和 11 年 5 月 28 日裁可。同月 25 日付け施行）。

【叙勲裁可書】

（筆者が原文のカタカナをひらがな表記にし、旧字体はできるだけ新字体にし、句読点、ルビ等を付しました。）

故従二位勲二等伯爵柳澤保恵は夙に独国^{ドイツ}、奥国^{オーストリア}、白国^{ベルギー}等に於て社会学、統計学を修め、帰朝後、明治三十二年内閣統計局の事務を囑託せられ後、同顧問、臨時国勢調査局参与、国勢院参与仰付られ、鋭意、官府統計の改善整備に^{じんすい}尽瘁^{（自分の労苦を顧みることなく、全力を尽くすこと）}し、特に簡易調査の必要を献策して其の実現に努め之が制度の確立を見るに至らしむ。又、正確なる国富調査の必要なる所以を力説して昭和七年に「昭和五年国富調査」、翌八年には「昭和五年国民所得調査」の施行する例の端緒を開くに至らしめ、国勢調査に関しては、明治四十三年国勢調査準備委員会委員となり、以後今日に至るまで終始其の計画実施に尽力せり。又、明治三十二年諾威国^{ノルウェー}「クリスチャニア」^{（オスロの旧称）}に開催の第七回国際統計協会会議に委員として参列仰付られ、爾来、各国開催の右会議に参列したること前後十一回に及び、就^{なかんづく}中東洋に於ける最初の会議として昭和五年第十九回会議の東京に開催せられたるは全く其の努力に由る所にして本会議の極めて好成績を挙げ得たるは、之れ我国統計進歩の状況を海外諸国に紹介すると共に我国文化の実相を広く海外に紹介し、延^ひいては国際親善に資する所^{すくな}尠^{すくなく}からず。又、私財を投じて柳澤統計研究所を設立し一般統計の調査と育英事業の遂行^{つと}に力め、或は人口問題研究所の設置に^{けつりよく}竭力^{（全力を注ぐ）}し、我国統計の未だ極めて幼稚なりし明治三十年代より今日に至る迄、終始、統計現在の発達に寄与したる所、甚だ大なり。其の他、各種委員、評議員仰付られ、又は多年貴族院議員として克^{よく}く^{（十}

⁶ 国立公文書館デジタルアーカイブ「故伯爵柳澤保恵叙勲ノ件」

分に) 其の職責を尽くし、或は市会議員、同議長に推され市政の刷新に力を致したる等功績顯著の者に候處、本月二十五日死去せる趣に付、此際、特に同日附けを以て勲一等に叙し、瑞宝章を授けられ^{たく}度、此段、^{いんさい}允裁を仰ぐ(決裁を頂く)。

4 おわりに

島村史郎「日本統計史群像」によれば「戦前の我が国では、衆議院議員、貴族院議員のうち統計に関心を持つ人が統計発展のため、陰に陽に協力し支援の手を差し伸べた。」とし、その代表格として、柳澤保恵、阪谷芳郎らをあげています。阪谷芳郎⁷は、第19回国際統計協会会議準備委員会の顧問として、同委員会の柳澤保恵会長とともに第19回国際統計協会会議の開催に尽力しました。このことから、戦前の我が国において国際的統計活動に貢献した偉人がいたことを実感することができました。



⁷ ^{さかたによしろう} 阪谷芳郎(1863～1941)のプロフィールは、統計図書館ミニトピックスNo.12「寺内首相に国勢調査の実現を求めた阪谷芳郎」参照

【あとがき】

冒頭のプロフィールについては、脚注2に掲げた資料を参考に紹介しましたが、その際、インターネットで閲覧可能な略伝等に係る資料も調べました。特に、次のコンテンツが大変参考になりましたので、ここに紹介します。

○国立公文書館デジタルアーカイブでインターネット公開されている資料

①「故伯爵柳沢保恵叙勲ノ件」に収録されている履歴書

○国立国会図書館デジタルコレクション（※国立国会図書館／図書館送信参加館限定）で閲覧可能な資料

②「日本統計学会年報」第11年（昭和17年^{（1942年）}8月）の「本邦統計学 統計先覚者略伝」に所収の「伯爵^故柳澤保恵先生略伝」（森田優三編）

③財団法人人口問題研究会「人口問題」（第1巻第4号 故柳澤保恵伯爵追悼記念特集号（昭和11年12月））に所収の「故柳澤保恵伯爵略歴」（財団法人柳澤統計研究所 高興濂編）

④統計学社「統計学雑誌」第600号に所収の「柳澤伯爵履歴」

■付録

今回、国際統計協会の関係の記事は、脚注4に掲げた文献を参考資料として紹介しましたが、その際、インターネットで閲覧可能な関連資料も調べました。特に、国立国会図書館デジタルコレクションでインターネット公開されている次のコンテンツが大変参考になりましたので、ここに紹介します。

【参考1】国際統計協会会議の沿革	国際統計協会会議準備委員会「国際統計協会会議報告. 第19回」付録
【参考2】国際統計協会会議への我が国からの代表者	
【参考3】第19回国際統計協会会議準備委員会設置・同委員会職員任命	昭和4年（1929年）12月27日官報（彙報）
【参考4】第19回国際統計協会会議の開催記事	昭和5年（1930年）1月22日官報（雑報）
【参考5】第19回国際統計協会会議 開会式	第十九回国際統計協会会議記念写真帖
【参考6】第19回国際統計協会会議 日程	国際統計協会会議準備委員会「国際統計協会会議報告. 第19回」中編

【参考1】国際統計協会会議の沿革

124

125

一 國際統計協會ノ沿革、組織及事業
(一) 沿革

國際統計協會 (Institut International de Statistique) ハ千八百八十五年通ニ倫敦統計協會創立五十年記念於巴里統計協會創立二十五周年記念ノ兩祝典ノ舉行セラレタル際、會合セル各國統計家ノ間ニ國際統計機關創設ノ議起リ、同年六月二十四日倫敦ニ於テ設立セラレタルモノナリ。

國際統計協會ハ千八百八十七年第一回會議ヲ羅馬ニ開催シテ以來隔年毎ニ主トシテ歐洲諸國ノ首府ニ會議ヲ開キ、歐洲大戦中ノ數年間ハ一時中絶ノ已ムナキニ至リシモ戰後再ビ之ヲ開催シ、最近千九百三十一年西班牙國マドリッドニ於テ第二十回會議ヲ開催シタリ。今第一回以降ノ本協會會議ノ會期、開催地及出席者數ヲ示セバ次ノ如シ。

第何回	會期	開催地	會員數	總數	出席者數
第一回	一八八七年四月十二日	羅馬	二六	二六	二六
第二回	一八八九年九月十六日	巴黎	二六	二六	二六
第三回	一八九一年九月十六日	倫敦	二六	二六	二六
第四回	一八九三年九月十六日	市維也納	二六	二六	二六
第五回	一八九五年八月三十一日	伯林	二六	二六	二六
第六回	一八九七年八月三十一日	伯林	二六	二六	二六
第七回	一八九九年九月十六日	倫敦	二六	二六	二六
第八回	一九〇一年九月十六日	倫敦	二六	二六	二六
第九回	一九〇三年九月十六日	倫敦	二六	二六	二六
第十回	一九〇五年八月三十一日	倫敦	二六	二六	二六
第十一回	一九〇七年八月三十一日	倫敦	二六	二六	二六
第十二回	一九〇九年八月三十一日	倫敦	二六	二六	二六
第十三回	一九一一年八月三十一日	倫敦	二六	二六	二六
第十四回	一九一三年八月三十一日	倫敦	二六	二六	二六
第十五回	一九一五年八月三十一日	倫敦	二六	二六	二六
第十六回	一九一七年八月三十一日	倫敦	二六	二六	二六
第十七回	一九一九年八月三十一日	倫敦	二六	二六	二六
第十八回	一九二一年八月三十一日	倫敦	二六	二六	二六
第十九回	一九二三年八月三十一日	倫敦	二六	二六	二六
第二十回	一九二五年八月三十一日	倫敦	二六	二六	二六

第五回	一八九五年八月三十一日	伯林	二六	二六	二六
第六回	一八九七年八月三十一日	伯林	二六	二六	二六
第七回	一八九九年九月十六日	倫敦	二六	二六	二六
第八回	一九〇一年九月十六日	倫敦	二六	二六	二六
第九回	一九〇三年九月十六日	倫敦	二六	二六	二六
第十回	一九〇五年八月三十一日	倫敦	二六	二六	二六
第十一回	一九〇七年八月三十一日	倫敦	二六	二六	二六
第十二回	一九〇九年八月三十一日	倫敦	二六	二六	二六
第十三回	一九一一年八月三十一日	倫敦	二六	二六	二六
第十四回	一九一三年八月三十一日	倫敦	二六	二六	二六
第十五回	一九一五年八月三十一日	倫敦	二六	二六	二六
第十六回	一九一七年八月三十一日	倫敦	二六	二六	二六
第十七回	一九一九年八月三十一日	倫敦	二六	二六	二六
第十八回	一九二一年八月三十一日	倫敦	二六	二六	二六
第十九回	一九二三年八月三十一日	倫敦	二六	二六	二六
第二十回	一九二五年八月三十一日	倫敦	二六	二六	二六

國際統計協會…は、1885 年たまたまロンドン統計協會創立 50 年記念並びにパリ統計協會創立 25 年記念の両式典の挙行せられたる際、会合せる各国統計家の間に國際統計機關創設の議起り、同年 6 月 24 日ロンドンに於て設立せられたるものなり。

國際統計協會は、1887 年第 1 回會議を開催し、最近 1931 年、スペイン・マドリッドに於て第 20 回會議を開催したり。今第 1 回以降の本協會會議の会期、開催地及び出席者数を示せば次の如し。(筆者が原文のカタカナをひらがな表記にし、旧字体はできるだけ新字体にするなどしました。)

【画像】:「國際統計協會會議報告. 第 19 回」付録

国際統計協会…は、1885 年たまたまロンドン統計協会創立 50 年記念並びにパリ統計協会創立 25 年記念の両式典の挙行せられたる際、会合せる各国統計家の間に国際統計機関創設の議起こり、同年 6 月 24 日ロンドンに於て設立せられたるものなり。

国際統計協会は、1887 年第 1 回会議を開催し、最近 1931 年、スペイン・マドリッドに於て第 20 回会議を開催したり。今第 1 回以降の本協会会議の会期、開催地及び出席者数を示せば次の如し。（筆者が原文のカタカナをひらがな表記にし、旧字体はできるだけ新字体にするなどしました。）

【画像】：「国際統計協会会議報告 第 19 回」付録

【補足資料】第 19 回国際統計協会会議の東京開催に至る経緯については「総理府統計局八十年史稿」に記述されていますので、ここに紹介します。

国際統計協会会議は、第十八回に至るまで、主として欧州各国の首都に限られ、未だ曾て東洋において開催されることはなかった。しかるに、本会議をわが国に開催方に関しては、わが国の多年、要望して来たところであったので、昭和四年^{1929 年}六月十一日、政府は閣議の決定^(1931 年開催)を経て、国際統計協会会長ドウラトゥール氏に対し、次回会議の日本開催方を提議した。同年八月フルソー（ワルシャワの英語名）における第十八回会議の提議に同提議が上程された。たまたまスペイン（スペイン）からも、次回会議開催方の提議があったので日西両国提案に対して協役員側からは折衷案とも認められる第三案、すなわち第十九回会議はこれを臨時に昭和五年九月東京において、第二十回会議はマドリッドにおいて開催することの提議あり、以上の三提案につき…討議の後、ついに協会側の提案が可決された。

ここにおいて、わが国においては、昭和四年十一月十六日更めて^(あらためて)閣議の決定^(1930 年開催)を経、これが開催の決定をみたのである。

【資料】：「総理府統計局八十年史稿」国立国会図書館デジタルコレクション（※国立国会図書館／図書館送信参加館限定）で閲覧可能 <https://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/3027573/313>（赤字は筆者が修正）

【参考2】国際統計協会会議に参列した我が国からの代表者

126

125

* 中編「第八 會議参列者氏名」ノ部参照。

第十八回	一九二九年	ワ ル ソ ー 京	内閣統計局長 伯爵 柳澤 保恵 男爵 阪谷 芳郎 下條 康磨 伯爵 柳澤 保恵 高野岩三郎 長谷川越夫	高 興 彦 飯 野 毅 夫 外 七 十七 名
第十九回	一九三〇年			
第二十回	一九三一年	マ ド リ ッ ド	内閣統計局長	

第一回	一八八七年	経 馬																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						</
-----	-------	--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	----

【注】柳澤保恵は、このほかメキシコで開催の第21回會議に委員として参列。
柳澤保恵の国際統計協会會議への参列回数11回。
【参考資料】：国立公文書館デジタルアーカイブ「伯爵柳沢保恵第二十一回国際統計協会會議ニ委員トシテ参列被仰付」、島村史郎「日本統計史群像」

本邦政府においても夙に（早くから）本協會の權威と其の事業の重要な価値とを認め、1899年クリスチアニア（現稱オスロ）に第7回會議以來専門委員を派遣して之に参列せしめ、尙1925年（大正14年）以降年額壹千圓の補助金を支出して本協會の事業を講演するに至れり。本邦委員及び招待員の氏名を掲げれば次の如し。
（筆者が原文のカタカナをひらがな表記にし、旧字体はできるだけ新字体にするなどしました。）

【画像】：「国際統計協会會議報告 第19回」付録

【参考3】第19回國際統計協會會議準備委員會設置・同委員會職員任命

官報 第八九九號 昭和四年十二月二十七日(金曜日) (第三種郵便物認可)

彙報

○官廳事項

●國際統計協會會議準備委員會設置 昨二十六日內閣ニ國際統計協會會議準備委員會ヲ設置シ其規程左ノ通定メタリ

第一條 國際統計協會會議準備委員會規程

第二條 國際統計協會會議準備委員會ハ會長一人委員若干人ヲ以テ之ヲ組織ス

第三條 國際統計協會會議準備委員會ニ事務ヲ輔ケシムル爲メ顧問ヲ附クコトヲ得

第四條 會長及委員ハ內閣總理大臣ノ奏請ニ依リ關係各廳高等官及學識經驗アル者ノ中ヨリ內閣ニ於テ之ヲ命ス顧問ヲ命スルトキ亦同シ

●國際統計協會會議準備委員會職員任命

國際統計協會會議準備委員會ノ會長、顧問委員、幹事長及幹事左ノ通時二十六日付付ケラレタリ

從二位勳二等伯爵 柳澤 保惠

正三位勳一等男爵 阪谷 芳郎

國際統計協會會議準備委員會顧問被仰付

內閣書記官長 鈴木富士彌

內閣統計局長 長谷川越夫

外務次官 吉田 茂

農林次官 松村眞一郎

商工次官 三井 未松

鐵道次官 青木 周三

正四位勳二等 下條 康磨

正四位勳三等 矢野 恒太

正七位勳四等 恒太

國際統計協會會議準備委員會委員被仰付

內閣統計局長 長谷川越夫

國際統計協會會議準備委員會幹事長被仰付

第五條 會長ハ會議ヲ總理ス

第六條 國際統計協會會議準備委員會ニ幹事長及幹事ヲ置ク

幹事長及幹事ハ內閣總理大臣ノ奏請ニ依リ內閣ニ於テ之ヲ命ス

幹事長ハ會長ノ指揮ヲ承ケ會議ヲ掌理ス

幹事ハ上司令ノ指揮ヲ承ケ會議ヲ處理ス

第七條 國際統計協會會議準備委員會ニ書記ヲ置ク內閣ニ於テ之ヲ命ス

書記ハ上司ノ指揮ヲ承ケ會議ニ從事ス

(各通)

內閣書記官 林 清 光隆

內閣統計局長書記官 高田 太一

外務書記官 西 春彦

正五位勳五等 後藤 市藏

國際統計協會會議準備委員會幹事被仰付

【画像】：昭和4年（1929年）12月27日官報（彙報）

【参考4】第19回國際統計協會會議の開催記事

第十九回國際統計會議

▲本年秋季東京に開催される▲

國際統計協會會議準備委員會委員長 柳澤 保惠

昨年八月二十一日から二十四日まで、ポーランドの首都ワルザで開かれた第十八回國際統計協會會議に政府代表として出席し、その際同會議は本年九月十五日より五日間、臨時會議として第十九回國際統計協會會議を開催することに決定された。これはこの會議は二年に一回開催の規約なので、この次ぎの會議は昭和六年に開かる、事になつてゐるので、一昨年二月エダブ會議、即ち第十七回會議から歸朝して、直に昭和六年日本開催の件を時の總理大臣に達言し、會議費及び印刷費の外、出席費員約七十名の日本來賓の旅費補助金を出して貰ふことを申出たが、自分の期待してゐる半額位しか補助されないので、民間の有力者がら寄附金を募る覚悟で、政府代表として大會を日本で開催する件を、昨年の八月二十三日の總會に申し出たところ、スペインから、大會は我が國で開いてほしいとの申出があつたので、競争の結果を要し、同會館館長より全く前例のない臨時會議を一九三〇年秋日本で開催、スペインでは一九三一年通常會議を開くという動議を提出し、これに次いで二三の動議が提出されたが結局協会の決議通り本年秋東京開催と決定し、現内閣は前内閣同様十億圓である。よつて、同地位の寄附は昭和五年度より六年度へかけて募集する積で、大體成算はある。

國際統計協會は、千八百八十四年イギリス欽定統計協會の創立五十週年を念として創立され、爾後二年毎に各國で開かれ、日本では五年初めて開かれるものである。現會長はフランスのダトワール氏、事務局長はオランダの統計局長、メトルスト氏で、ヘーグに本部と常設事務局をおき、そこで一切の事務を取扱つてゐる。前會長はドイツ聯邦バイエルン統計局長で、ミュンヘン大學教授ツアン氏、アメリカのユール大學教授ワイルコックス氏及びベルギー工務部次官ジュラン氏の二十八名委員はロンドン大學教授ボーレー氏で、

二箇年毎に改選される規定である。會員は二百二十人を充て、各國共一流の統計學者を網羅し、同會議の發表する決議は、主として人口、經濟、社會各方面に關するもので、國際聯盟、國際労働局、國際統計協會、國際商事協會等各方面に大なる貢獻をなし、各國統計機關またその決議を尊重してゐる。

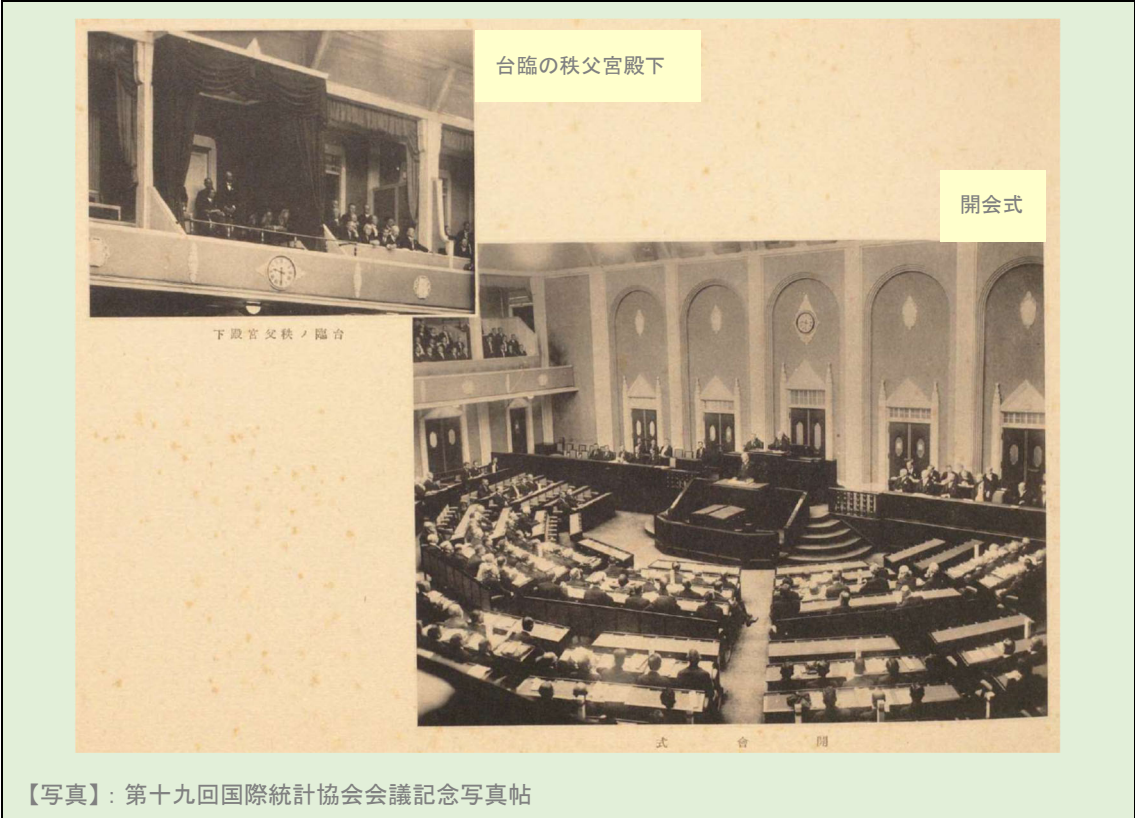
本年秋日本で開催される會議は、その十九回に當り少なくとも五六十名の會員の外に、政府代表數十名來朝する見込である。會期は九月十五日より五日間の豫定で、九月二十日より數日開演版地方へ見學の客である。なお會議へ提出の論文や報告類特別委員長報告等は、開演前三箇月以内に印刷に付して、世界に散在する會員及び招待員に配布する事に定つてゐる。

會議の用語は事實上、イギリス、フランス、ドイツの三箇國語に限られ、會議に關する通信事項はフランス語と定まつてゐる。我が國の會員は下條前統計局長と學者の兩人であるが、我が國の統計學者十數名は會議に招待せらるゝ事に内定してゐる。日本政府が會議を召集するも、會議事務はすべて協會本部と主催國の準備委員會と打合せ、協力して行ふ事が従来の慣例であり、すべての條件は調整を要するので、この事務は會議に經驗ある人によつて行われなければならない。

ついで、今回内閣内に設置された國際統計準備委員會々々長を任命したので、できるだけの努力をもつて、この大役を當り、手落ちなく會議を遂行するつもりである。

【画像】：昭和5年（1930年）1月22日官報（雜報）

【参考5】第19回国際統計協会会議 開会式（於：衆議院議場）



【写真】：第十九回国際統計協会会議記念写真帖

【参考6】第19回国際統計協会会議 日程

中編 會議ノ狀況

第一概 説

昭和五年九月十四日午前國際統計協會及國際統計協會會議準備委員會各幹部ハ會場ニ集メ上會議ニ關スル打合せヲ爲シ終テ議谷ニ葉亭ニ於テ午餐ヲ共ニシ翌朝ヲ圖ル所アリ、又同日夜九時柳澤東京市會議長ハ丸ノ内ビルヂング精養軒ニ於テ夜會ヲ開催シ會議參列者ノ親睦ヲ圖リタリ。

翌十五日 秩父宮殿下統裁ノ下ニ衆議院議場ニ於テ開會式ヲ舉行セリ。開會式後引續キ貴族院ニ於テ國際統計協會會員ノミ會合ノ上會務打合會ヲ開キ、各部會議長及副議長ヲ選舉シタリ。面シテ同日午後ヨリ會議ハ第一部人口統計、第二部經濟統計、第三部社會統計ノ三部會ニ分レ、夫々上程議題ニ付論議スル所アリタリ。部會ハ十七日ヲ除キ十九日迄續行セラレ、十九日及二十日ノ各午前、前後二回ノ總會ヲ開キ各部會議長ヨリ詳細ナル部會議ノ報告アリ、二十日正午閉會ヲ告ゲタリ。

會議日程次ノ如シ。

九月十六日(火曜日)	第一部會	第二部會
同 十七日(水曜日)	第一部會	第一部會
同 十八日(木曜日)	第二部會	第二部會
同 十九日(金曜日)	第三部會	第三部會
同 二十日(土曜日)	總會	第二部會

九月十五日(月曜日)	午前	午後
開會式	第一部會	
會務打合會	第二部會	
	第三部會	

【画像】：国際統計協会會議準備委員会「国際統計協会會議報告. 第19回」中編

【余談】柳澤保恵の死亡叙勲に係る官報を探していたら・・・！

柳澤保恵が勲一等に叙せられるに際しての叙勲裁可書は、国立公文書館デジタルアーカイブで確認できましたが、叙勲の事実を裏付ける手がかりとなりそうな関係資料も参照してみることとしました。

まず、裁可日以降の官報（国立国会図書館デジタルコレクション）で確認すべく、柳澤保恵に係る「叙任及辞令」の記事について目視での探索をトライしましたが、見当たりませんでした（国立国会図書館デジタルコレクションの詳細検索で、官報に限定して氏名をキーワードとして検索しても発見できず、裁可された日に近い日の官報で「叙任及辞令」をキーワードとして検索するなどしましたがヒットしませんでした。）。

そして、統計関係雑誌において、叙勲一等授瑞宝章を伝える記事を探したところ、以下の記事が掲載されていました（いずれも昭和 11 年（1936 年）5 月 25 日付け）。

雑誌名	記事内容
前掲の「日本統計学会年報」に所収の柳澤保恵の略伝	生前の勲功を嘉せられ ^{よみ} （ほめたたえられ）勲一等に叙し瑞宝章を賜はる。
前掲の「人口問題」に所収の「故柳澤保恵伯爵略歴」	叙勲一等授瑞宝章
前掲の「統計学雑誌」第 600 号に所収の「柳澤伯爵履歴」及び「柳澤名誉社長 ^{こうきよ} 薨去」の訃報	（履歴）叙勲一等授瑞宝章
	（訃報） ^{かしこ} 畏きあたりには同伯生前本邦統計界に ^{じんすい} （自分の労苦を顧みることなく、全力を尽くすこと） ^{じんすい} 盡瘁せる功を思召され特旨を以て勲一等に昇叙瑞宝章を授けられた。
前掲の「柳澤統計研究所季報」第 41 号	叙勲一等被授瑞宝章

さらに、国立国会図書館リサーチ・ナビのサイトを検索したところ、「勲章と褒章（日本）」のページに日本の栄典制度である勲章と褒章の種類や写真、受章者名等の調べ方について紹介されていたので、手がかりになりそうな資料を調べてみました。その結果、総理府賞勲局「特別叙勲類纂（死没者）」（1983-84）（上・下）に、昭和 22 年 5 月までの危篤時叙勲、死亡時叙勲の受章者の裁可書や上申書における功績が掲載されていることが分かりました。同書の下巻に氏名索引があり、上巻に柳澤保恵の裁可書（昭和 11 年 5 月 28 日裁可。同月 25 日付け施行）や上申書（昭和 11 年 5 月 27 日付け）がありました。これは、国立公文書館保管の裁可書や上申書が活字化されたものでした。

官報で柳澤保恵に係る「叙任及辞令」の記事を発見できなかったのは残念でしたが、国立国会図書館デジタルコレクションの詳細検索で官報に限定して氏名をキーワードとして検索した際、たまたま、付録の【参考 4】第 19 回国際統計協会の開催記事（昭和 5 年（1930 年）1 月 22 日官報（雑報））を発見することができました。思わぬ収穫でした。